



Press Release

AIG
175 Water Street
New York, NY 10038
www.aig.com

本稿は2020年2月13日、AIG米国本社が発表した英文プレスリリース（原文）の参考訳です。
本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。
原文の発信日付で、AIGジャパンのホームページに掲載しています。

AIG、2019年第4四半期および2019年通期の決算を公表

- 2019年第4四半期は9億2,200万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.03ドルのAIG普通株主に帰属する純利益を計上。これに対して、前年同期は6億2,200万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.70ドルのAIG普通株主に帰属する純損失。
- 2019年第4四半期は9億1,900万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.03ドルのAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益*を計上。これに対して、前年同期は5億5,900万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.63ドルのAIG普通株主に帰属する調整後税引後損失。
- 損害保険事業部門はコンバインド・レシオ99.8、保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ*95.8を達成、前年同期のそれぞれ115.0、98.8から改善。大規模自然災害損失の減少、アンダーライティングおよび再保険アクション、費用面の規律継続が奏功。2019年通期では、損害保険事業部門はコンバインド・レシオ99.6、保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ96.0を達成、前年同期のそれぞれ111.4、99.7から改善。
- 生命保険および退職給付事業部門は8億3,900万ドルの調整後税引前利益を計上。これに対して、前年同期は6億2,300万ドルの調整後税引前利益。
- 2019年第4四半期の連結正味投資利益合計は36億ドル。これに対して、前年同期は28億ドル。オルタナティブ投資のリターンの上昇を反映。
- 2019年12月31日時点の普通株式1株当たりブック・バリューは74.93ドルで、2018年12月31日時点から15%上昇。その他の包括利益累計額（AOCI）および繰り延べ税金資産（DTA）を除く普通株式1株当たりブック・バリュー（調整後普通株式1株当たりブック・バリュー）*は58.89ドルで、2018年12月31日時点から7%上昇。
- 2019年12月31日までの12ヶ月間の普通株主資本利益率（ROCE）、AOCIおよびDTAを除く普通株主資本利益率（調整後ROCE）*はそれぞれ5.3%、8.3%。

2020年2月13日（ニューヨーク発）：アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）は本日、2019年第4四半期のAIG普通株主に帰属する純利益が9億2,200万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.03ドルになったことを公表しました。これに対して、前年同期はAIG普通株主に帰属する純損失が6億2,200万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.70ドルでした。この改善の主因は、損害保険事業部門のアンダーライティングおよび再保険アクションの好影響、税引前正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金1億5,300万ドル（前年同期は税引前正味前年以前事故年度の当年度発生保険金3億6,500万ドル）、税引前大規模自然災害純損失の前年同期

比3億8,500万ドルの減少および税引前正味投資利益の前年同期比8億3,300万ドルの増加でした。2019年第4四半期のAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益は9億1,900万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.03ドルでした。これに対して、前年同期はAIG普通株主に帰属する調整後税引後損失5億5,900万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.63ドルでした。この改善の主因は、損害保険事業部門のアンダーライティングおよび再保険アクションの好影響、大規模自然災害純損失の前年同期比減少および正味投資利益の前年同期比増加でした。

2019年通期のAIG普通株主に帰属する純利益は33億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは3.74ドルでした。これに対して、前年通期はAIG普通株主に帰属する純損失が600万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.01ドルでした。この改善の主因は、税引前大規模自然災害純損失の前年通期比17億ドルの減少、損害保険事業部門のアンダーライティングおよび再保険アクションの好影響および主として前年通期に比べた資産増加、オルタナティブ投資リターンの上昇および満期固定証券の公正価値オプションへの金利低下の影響を反映した税引前正味投資利益の21億ドルの増加でした。2019年通期のAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益は41億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは4.59ドルでした。これに対して、前年通期はAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益が11億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.17ドルでした。この改善の主因は、大規模自然災害純損失の減少、正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金（前年通期は前年以前事故年度の当年度発生正味保険金）および正味投資利益の増加でした。

AIG CEOのブライアン・デュパロウは次のように述べました。

「2019年第4四半期および2019年通期のAIGの業績は、AIGを長期的かつ持続可能な収益性を伴う成長に位置づけるために2019年を通じて実現した顕著な進展を反映したものです。2019年通期のAIG普通株主に帰属する税引後利益は41億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは4.59ドルとなり、調整後ROCEは8.3%となりました。2019年通期の業績の改善は広範囲にわたるものであり、各セグメントすべてが寄与してくれました。その中で最も顕著だったのが損害保険事業部門の保険引受利益の黒字転換でした。2019年通期のコンバインド・レシオは99.6、保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは96.0となりました。生命保険および退職給付事業部門も、低金利およびクレジット・スプレッドのタイト化という逆風が継続したにもかかわらず、堅調な決算をもたらしました。最後に、AIGはレガシー保険事業フォーティチュード・リインシュアランスの過半数持ち分の売却について合意に達したことをお知らせします。規制当局の承認を条件に、売却は今年半ばに完了する予定です。」

「2020年に向けて、AIGを有数の保険フランチャイズにしてトップクラスの業績を誇る企業にするための戦略の遂行に焦点を絞り、2021年末までの調整後ROCE10%実現に引き続きコミットしています。損害保険事業部門好転の一環としての努力継続に加えて、AIG 200も最優先事項です。AIG 200はAIGの長期戦略的ポジショニングを重視した複数年の全社的な変革プログラムであり、オペレーショナル・エクセレンスの達成を目指しています。私はAIGが正しい道を歩んでいると確信しており、2017年に私がAIGに入社して以来社員の皆さんが達成したことを非常に誇りに思います。AIGを待ち受ける将来への大きな期待が広がるなか、2020年は素晴らしいモメンタムを保ちながら始まりました。」



業績概要

(単位：百万米ドル、1株当たりの額を除く)	12月31日までの3ヶ月間		12月31日までの3ヶ月間	
	2019	2018	2019	2018
AIG普通株主に帰属する純利益（損失）	\$ 922	\$ (622)	\$ 3,326	\$ (6)
AIG普通株主に帰属する希薄化後1株当たりの純利益（損失） (a)	\$ 1.03	\$ (0.70)	\$ 3.74	\$ (0.01)
加重平均発行済み普通株式数 - 希薄化後 (a)	896.4	887.5	889.5	910.1
調整後税引前利益（損失）：				
損害保険事業部門	\$ 778	\$ (722)	\$ 3,533	\$ (469)
生命保険および退職給付事業部門	839	623	3,458	3190
その他の事業	(586)	(420)	(2,014)	(1,525)
レガシー	177	(150)	501	213
合計	\$ 1,208	\$ (669)	\$ 5,478	\$ 1,409
AIG普通株主に帰属する調整後税引後利益（損失）	\$ 919	\$ (559)	\$ 4,084	\$ 1,064
AIG普通株主に帰属する希薄化後普通株式1株当たり調整後税引後利益（損失） (a)	\$ 1.03	\$ (0.63)	\$ 4.59	\$ 1.17
普通株主資本利益率	5.7 %	(4.3) %	5.3 %	0.0 %
調整後普通株主資本利益率*	7.3 %	(4.6) %	8.3 %	2.1 %
調整後帰属株主資本利益率- コア*	7.6 %	(4.3) %	9.2 %	2.3 %
発行済み普通株式数	870.0	866.6	870.0	866.6
普通株式1株当たりブック・バリュー	\$ 74.93	\$ 65.04	\$ 74.93	\$ 65.04
その他の包括利益累計額を除く普通株式1株当たりブック・バリュー*	69.20	66.67	69.20	66.67
調整後普通株式1株当たりブック・バリュー*	58.89	54.95	58.89	54.95
損害保険事業部門コンバインド・レシオ	99.8	115.0	99.6	111.4
損害保険事業部門保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	95.8	98.8	96.0	99.7
AIG普通株主に帰属する調整後リターン -生命保険および退職給付事業部門*	13.0 %	9.8 %	13.7%	12.6 %

(a) 損失を計上している期間については、基本平均発行済み普通株式数を用いてAIG普通株主に帰属する希薄化後普通株式1株当たり純利益（損失）を計算しています。希薄化後株式は、2018年12月31日までの3ヶ月間の基本株式を示しています。AIGが同期間に継続事業部門からの純損失およびAIG普通株主に帰属する調整後税引後損失を計上したためです。

別段の記載がない限り、比較はすべて、2018年4半期に対するものです。詳細については、AIG ウェブサイトの投資家向けセクションに掲載されている2019年第4四半期追加財務情報をご参照ください

2019年第4四半期の業績概要

損害保険事業部門-2019年第4四半期の調整後税引前利益7億7,800万ドルは保険引受利益1,200万ドルおよび正味投資利益7億6,600万ドルによるものです。正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金は1億5,300万ドルとなりましたが、その主因は2017事故年度の当年度発生戻入金でした。再保険調整後の大規模自然災害純損失は4億1,100万ドルで、台風「ハギビス」による2億3,300万ドルおよびテキサス州の竜巻とカリフォルニア州の山火事による1億4,600万ドルを含みます。コンバインド・レシオは99.8でした。保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは95.8となり、前年同期比230ベースポイント改善した保険事故年度の調整済み損害率61.6*および前年同期比70ベースポイント改善した事業費率34.2から成っています。保険事故年度の調整済み損害率の低下は、事業構成および損失パフォーマンスを改善し、損害保険事業部門の保険契約総量の変動を削減するために取られたアンダーライティングおよび再保険アクションを反映したものです。

生命保険および退職給付事業部門 - 2019年第4四半期の調整後税引前利益は前年同期比35%増の8億3,900万ドルとなりました。この増加は株式市場リターンの好影響、公平価値オプション債券の利益増加とコールの利益をもたらした金利低下の好影響および基礎ポートフォリオの利益増加をもたらした資産増加を反映したのですが、これらは前年同期に比べて低下した再投資利回りおよび同事業部門への投資に起因する事業費（GOE）の小幅上昇により部分的に相殺されました。正味フローは前年同期に比べ純流出が拡大しました。主因は定額型年金保険の販売減と団体向け退職給付の解約の小幅増加でしたが、堅調なインデックス連動型年金の販売および団体向け退職給付の販売増により部分的に相殺されました。2019年第4四半期の生命保険および退職給付事業部門の調整後ROCEは13.0%となりました。

正味投資利益 - 2019年第4四半期の正味投資利益は前年同期比30%増の36億ドルとなりました。オルタナティブ投資利益2億900万ドルを反映したものです。前年同期は損失でした。オルタナティブ投資利益の年率利回りは2019年第4四半期に12.26%となり、AIGが同4半期に想定した年率8%を上回りました。前年同期のオルタナティブ投資利益の年率利回りは-5.85%でした。

その他の事業 - 2019年第3四半期の調整後税引前損失は5億8,600万ドルで、連結、消去その他修正による損失1億3,300万ドルおよび利益3,100万ドルを含む前年同期の調整後税引前損失4億2,000万ドルから増加しました。連結、消去その他修正を除くと、調整後税引前損失の小幅増加の主因は連結投資事業体の支払利息の4,400万ドル増加でした。

レガシーの業績 - 2019年第4四半期の調整後税引前利益は1億7,700万ドルでした。前年同期は1億5,000万ドル調整後税引損失でした。2018年第4四半期には医療・傷害保険の一部のがんおよび障害ブロックの損失認識に起因する税引前費用1億500万ドルが含まれていました。この費用を除くと、税引前利益の増加の主因は正味投資利益の増加でした。

普通株式1株当たりブック・バリュー - 2019年12月31日時点の普通株式1株当たりブック・バリューは74.93ドルでした。2018年12月31日時点では65.04ドルでした。普通株式1株当たりブック・バリューの増加は、2019年通期の純利益の結果としての留保利益の増加および固定満期ポートフォリオの金利低下に伴うAOCIの増加を反映したものです。調整後普通株式1株当たりブック・バリューは、前年通期末比7%増の58.89ドルとなりました。2019年12



月31日までの12ヶ月間のAIG普通株主に帰属する純利益33億ドルにより留保利益が増加したことがその要因です。

普通株主資本利益率（ROCE） - 2019年第4四半期および2019年12月31日までの12ヶ月間のROCEはそれぞれ5.7%、5.3%となり、AIG普通株主に帰属する純利益の増加により、前年同期および2018年12月31日までの12ヶ月間に比べ大幅に改善しました。2019年第4四半期および2019年12月31日までの12ヶ月間の調整後ROCEはそれぞれ7.3%、8.3%となり、AIG普通株主に帰属する調整後税引後利益の増加により、前年同期および2018年12月31日までの12ヶ月間のそれぞれ-4.6%、2.1%から改善しました。

流動性および資本 - 2019年12月31日時点のAIGの親会社流動資産は約76億ドルでした。これには内国歳入庁（IRS）の予想される税額査定により2020年第1四半期にも支払われる可能性のある17億ドルが含まれています。

損害保険事業部門

(単位：百万米ドル)	12月31日までの3ヶ月間		
	2019	2018	増減
損害保険事業部門合計			
総収入保険料	\$ 7,306	\$ 7,699	(5) %
正味収入保険料	\$ 5,830	\$ 6,424	(9)
保険引受利益（損失）	\$ 12	\$ (1,071)	NM
調整後税引前利益（損失）	\$ 778	\$ (722)	NM
引受に関する比率:			
損害率	65.6	80.1	(14.5) pts
控除：損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(6.5)	(11.3)	4.8
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	2.2	(5.3)	7.5
調整再保険料	0.3	0.4	(0.1)
保険事故年度の調整済み損害率	61.6	63.9	(2.3)
事業費率	34.2	34.9	(0.7)
コンバインド・レシオ	99.8	115.0	(15.2)
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	95.8	98.8	(3.0)



損害保険事業部門 – 北米

(単位：百万米ドル)	12月31日までの3ヶ月間		
	2019	2018	増減
北米			
正味収入保険料	\$ 2,814	\$ 2,944	(4) %
コマーシャル・ライン	1,990	2,161	(8)
個人向け損害保険	824	783	5
保険引受利益（損失）	\$ (19)	\$ (871)	98
コマーシャル・ライン	(111)	(541)	79
個人向け損害保険	92	(330)	NM
調整後税引前利益（損失）	\$ 622	\$ (575)	NM
引受に関する比率：			
北米			
損害率	71.7	94.6	(22.9) pts
控除：損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(9.8)	(19.6)	9.8
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	3.1	(10.0)	13.1
調整再保険料	0.7	0.9	(0.2)
保険事故年度の調整済み損害率	65.7	65.9	(0.2)
事業費率	28.9	30.7	(1.8)
コンバインド・レシオ	100.6	125.3	(24.7)
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	94.6	96.6	(2.0)
北米コマーシャル・ライン			
損害率	80.7	93.6	(12.9) pts
控除：損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(8.0)	(9.8)	1.8
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	(2.1)	(13.3)	11.2
調整再保険料	0.7	1.2	(0.5)
保険事故年度の調整済み損害率	71.3	71.7	(0.4)
事業費率	24.1	27.3	(3.2)
コンバインド・レシオ	104.8	120.9	(16.1)
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	95.4	99.0	(3.6)



(単位：百万米ドル)	9月30日までの3ヶ月間		
	2019	2018	増減
北米個人向け損害保険			
損害率	45.7	98.0	(52.3) pts
控除:損害率に対する影響:			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(14.8)	(49.8)	35.0
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	17.8	-	17.8
調整再保険料	0.6	-	0.6
保険事故年度の調整済み損害率	49.3	48.2	1.1
事業費率	42.9	41.6	1.3
コンバインド・レシオ	88.6	139.6	(51.0)
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	92.2	89.8	2.4

損害保険事業部門 北米 - コメント

- 正味収入保険料は4%減の28億ドルとなりました。アンダーライティング・アクションおよび2019年の再保険プログラムの変更が主因でした。
- 税引前引受損失は1,900万ドルとなりました。これには再保険調整後の大規模自然災害損失3億1,300万ドルが含まれており、その内訳は北米コマース・ラインが1億9,300万ドル、北米個人向け損害保険が1億2,000万ドルでした。正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金は主として2017年の当年度発生大規模自然災害戻入金および当年度発生労災補償戻入金によるものですが、これは米国フィナンシャル・ラインおよびプライマリー・コンストラクション・ラップのラン・オフ事業の当年度発生保険金により部分的に相殺されました。
- 北米コンバインド・レシオは100.6となり、大規模自然災害による損失関連の9.8ポイントおよび正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金-3.1ポイントが含まれています。保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは94.6となり、保険事故年度の調整済み損害率65.7および事業比率28.9が含まれています。保険事故年度の調整済み損害率の0.2ポイント改善は、アンダーライティングおよび再保険アクションの好影響を反映したのですが、これは農作物保険の損失拡大により部分的に相殺されました。
- 事業比率の1.8ポイント低下は事業構成変更に伴う新規契約獲得費用率の2.0ポイント減少を主因としたものですが、これはGOE率の0.2ポイント増加により部分的に相殺されました。



損害保険事業部門 – 北米外

(単位：百万米ドル)	12月31日までの3ヶ月間		
	2019	2018	増減
北米外			
正味収入保険料	\$ 3,016	\$ 3,480	(13) %
コマーシャル・ライン	1,379	1,561	(12)
個人向け損害保険	1,637	1,919	(15)
保険引受利益（損失）	\$ 31	\$ (200)	NM
コマーシャル・ライン	(25)	(251)	90
個人向け損害保険	56	51	10
調整後税引前利益（損失）	\$ 156	\$ (147)	NM
<u>引受に関する比率：</u>			
北米外			
損害率	59.7	66.8	(7.1) pts
控除：損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(3.4)	(3.7)	0.3
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	1.4	(1.0)	2.4
事故発生年度の調整済み損害率	57.7	62.1	(4.4)
事業費率	39.4	38.6	0.8
コンバインド・レシオ	99.1	105.4	(6.3)
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	97.1	100.7	(3.6)
北米外・コマーシャル・ライン			
損害率	65.4	80.5	(15.1) pts
控除：損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(3.3)	(7.2)	3.9
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	(1.1)	(4.1)	3.0
事故発生年度の調整済み損害率	61.0	69.2	(8.2)
事業費率	36.2	33.1	3.1
コンバインド・レシオ	101.6	113.6	(12.0)
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	97.2	102.3	(5.1)



(単位：百万米ドル)	9月30日までの3ヶ月間		
	2019	2018	増減
北米外個人向け損害保険			
損害率	54.5	53.4	1.1 pts
控除:損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(3.3)	(0.2)	(3.1)
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	3.5	2.0	1.5
事故発生年度の調整済み損害率	54.7	55.2	(0.5)
事業費率	42.3	43.9	(1.6)
コンバインド・レシオ	96.8	97.3	(0.5)
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	97.0	99.1	(2.1)

損害保険事業部門 北米外 – コメント

- 正味収入保険料は、アンダーライティングおよび2019年再保険プログラムの変更により、報告、実質両ベースで13%減少しました。
- 税引前引受利益は3,100万ドルとなりました。これには再保険調整後の大規模自然災害による損失9,800万ドルが含まれていますが、このうち5,100万ドルは北米外個人向け損害保険、4,700万ドルは北米外コマーシャル・ラインにそれぞれ関連しています。正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金は4,400万ドルとなりました。北米外個人向け損害保険の正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金が6,100万ドルとなりましたが、これは北米外コマーシャル・ラインの正味前年以前事故年度の当年度発生保険金1,700万ドルによって部分的に相殺されました。
- 北米外コンバインド・レシオは99.1となり、前年同期の105.4から低下しました。保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは97.1となり、保険事故年度の調整済み損害率57.7および事業比率39.4が含まれています。保険事故年度の調整済み損害率の4.4ポイント低下は特殊保険、タルボット・ホールディングス Ltd.および日本における個人向け自動車保険の改善が主因です。
- 事業費率は0.8ポイント上昇しましたが、これはGOE率の0.7ポイント上昇および新規契約獲得費用率の0.1ポイント上昇が主因でした。



生命保険および退職給付事業部門

	12月31日までの3ヶ月間		
	2019	2018	増減
(単位：百万米ドル)			
生命保険および退職給付			
収入保険料および手数料	\$ 1,695	\$ 1,917	(12) %
正味投資利益	2,071	1,921	8
調整後収益	4,000	4,065	(2)
給付、損失および費用	3,161	3,442	(8)
調整後税引前利益	839	623	35
収入保険料および預かり資産	7,060	8,166	(14)
個人向け退職給付			
収入保険料および手数料	\$ 248	\$ 209	19 %
正味投資利益	1,019	912	12
調整後収益	1,421	1,276	11
給付、損失および費用	920	949	(3)
調整後税引前利益	501	327	53
収入保険料および預かり資産	3,156	4,225	(25)
正味フロー	(963)	(510)	(89)
団体向け退職給付			
収入保険料および手数料	\$ 114	\$ 111	3 %
正味投資利益	537	517	4
調整後収益	722	682	6
給付、損失および費用	513	523	(2)
調整後税引前利益	209	159	31
収入保険料および預かり資産	2,312	2,106	10
正味フロー	(809)	(628)	(29)
生命保険			
収入保険料および手数料	\$ 791	\$ 741	7 %
正味投資利益	288	287	-
調整後収益	1,088	1,045	4
給付、損失および費用	1,037	958	8
調整後税引前利益	51	87	(41)
収入保険料および預かり資産	1,047	987	6



(単位：百万米ドル)	9月30日までの3ヶ月間		
	2019	2018	増減
機関投資家市場			
収入保険料および手数料	\$ 542	\$ 856	(37) %
正味投資利益	227	205	11
調整後収益	769	1,062	(28)
給付、損失および費用	691	1,012	(32)
調整後税引前利益	78	50	56
収入保険料および預かり資産	545	848	(36)

生命保険および退職給付事業部門 – コメント

- 生命保険および退職給付事業部門は、個人向け退職給付および団体向け退職給付の業績改善を主因に、調整後税引前利益8億3,900万ドルを計上しました。これに対して、前年同期は6億2,300万ドルでした。収入保険料および預かり資産は前年同期比14%減の71億ドルとなり、金利低下による定額型年金預かり資産の減少が主因でした。正味フローは引き続き純流出でした。
- 個人向け退職給付は調整後税引前利益5億100万ドルを計上しました。これに対して、前年同期は3億2,700万ドルでした。調整後税引前利益の改善は、株式市場リターンの好影響、金利低下が公正価値オプション債券の利益を押し上げた好影響および2019年を通じたインデックス連動型年金資産増加に起因する利益増加の結果ですが、これは再投資利回り低下に起因するスプレッド圧縮の持続により部分的に相殺されました。2019年第4四半期のリテール向けミューチュアル・ファンドを除く正味フロー総額は純流入となりましたが、低金利環境に起因するインデックス連動型年金の販売減少を主因に、前年同期比では減少しました。
- 団体向け退職給付は調整後税引前利益2億900万ドルを計上しました。これに対して、前年同期は1億5,900万ドルでした。調整後税引前利益の改善の主因は株式市場リターンの好影響でしたが、これは本事業への投資に関連するGOEの増加で部分的に相殺されました。正味フローは解約増加を主因に引き続きマイナスでした。
- 生命保険は調整後税引前利益5,100万ドルを計上しました。前年同期は8,700万ドルの調整後税引前利益でした。前年同期の支払準備金の改善は2019年第4四半期の死亡率低下で部分的に相殺されました。
- 機関投資家市場は調整後税引前利益7,800万ドルを計上しました。前年同期は5,000万ドルの調整後税引前利益でした。調整後税引前利益の増加は年金リスク移転および保証投資契約（GIC）の増加を背景とする資産ベースの拡大に伴う正味投資利益の増加によるものです。

* 一般に公正妥当と認められた会計原則に従って計算されていない（非GAAP）財務指標を指しています。非GAAP財務指標の定義および最も近いGAAP指標への調整については、本ニュースリリースの「レギュレーションGおよび非GAAP財務指標に関する注釈」の見出しの項をご覧ください。



FOR IMMEDIATE RELEASE

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、80 以上の国や地域でお客さまにサービスを提供しています。創業以来の100年の経験に基づき、現在では、損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客さまの資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。

持株会社 AIG, Inc.はニューヨーク証券取引所に上場しています。

AIGの追加情報についてはwww.aig.com | You Tube : www.youtube.com/aig | Twitter : @AIGinsurance www.twitter.com/AIGinsurance | LinkedIn : <http://www.linkedin.com/company/aig> を参照ください。AIGに関する追加情報を記載しているこれら参照先は便宜上提供されており、かかるウェブサイトに記載されている情報は、参照することにより本プレスリリースに組み込まれていません。

AIGとは、AIG, Inc.傘下の全世界の損害保険、生命保険、リタイアメント・サービス事業ならびに一般的な保険事業のマーケティング名です。より詳細な情報については当社のホームページ（www.aig.com）を参照ください。全ての商品およびサービスはAIG, Inc.傘下の子会社または関連会社により引き受けまたは提供されています。これらの商品およびサービスは一部の国では利用できない可能性があり、実際の契約に準拠します。保険以外の商品・サービスは、独立した第三者によって提供されることがあります。一部の損害保険の補償については、サープラス・ラインの保険会社によって提供される可能性があります。サープラス・ラインの保険会社は、一般的に米国州政府保証基金に加入しないため、当該基金による保証は行われません。



Press Release

AIG
175 Water Street
New York, NY 10038
www.aig.com

Contacts:

Sabra Purtill (Investors): 212-770-7074; sabra.purtill@aig.com
Daniel O'Donnell (Media): 212-770-3141; daniel.odonnell@aig.com
Claire Talcott (Media): 212-458-6343; claire.talcott@aig.com

AIG Reports Fourth Quarter and Full Year 2019 Results

- Net income attributable to AIG common shareholders was \$922 million, or \$1.03 per diluted common share, for the fourth quarter of 2019, compared to a net loss attributable to AIG common shareholders of \$622 million, or \$0.70 per common share, in the prior-year quarter.
- Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders* was \$919 million, or \$1.03 per diluted common share, for the fourth quarter of 2019, compared to an adjusted after-tax loss attributable to AIG common shareholders of \$559 million, or \$0.63 per common share, in the prior-year quarter.
- General Insurance posted a combined ratio of 99.8 and an accident year combined ratio, as adjusted*, of 95.8, compared to 115.0 and 98.8, respectively, in the prior-year quarter, driven by lower catastrophe losses, continued underwriting and reinsurance actions, and expense discipline. For full year 2019, General Insurance posted a combined ratio of 99.6 and an accident year combined ratio, as adjusted, of 96.0, compared to 111.4 and 99.7, respectively, in the prior year.
- Life and Retirement adjusted pre-tax income of \$839 million compared to \$623 million in the prior-year quarter.
- Total consolidated net investment income was \$3.6 billion in the fourth quarter of 2019 compared to \$2.8 billion in the prior-year quarter, reflecting higher alternative investment returns.
- Book Value per common share was \$74.93 at December 31, 2019, an increase of 15% compared to December 31, 2018. Book value per common share excluding accumulated other comprehensive income (AOCI) and deferred tax assets (DTA) (Adjusted book value per common share)* was \$58.89, an increase of 7% compared to December 31, 2018.
- Return on Common Equity (ROCE) and Return on Common Equity excluding AOCI and DTA (Adjusted ROCE)* were 5.3% and 8.3%, respectively, for the twelve months ended December 31, 2019.

NEW YORK, February 13, 2020 - American International Group, Inc. (NYSE: AIG) today reported net income attributable to AIG common shareholders of \$922 million, or \$1.03 per diluted common share, for the fourth quarter of 2019, compared to a net loss attributable to AIG common shareholders of \$622 million, or \$0.70 per common share, in the prior-year quarter. The improvement was primarily due to the favorable impact of General Insurance

** Refers to financial measure not calculated in accordance with generally accepted accounting principles (non-GAAP); definitions of non-GAAP measures and reconciliations to their closest GAAP measures can be found in this news release under the heading Comment on Regulation G and Non-GAAP Financial Measures.*



underwriting and reinsurance actions, favorable net prior year loss reserve development of \$153 million (pre-tax) compared to unfavorable net prior year loss reserve development of \$365 million (pre-tax) in the prior-year quarter, a reduction in pre-tax net catastrophe losses of \$385 million compared to the prior-year quarter, and an increase of \$833 million (pre-tax) in net investment income compared to the prior-year quarter. Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders was \$919 million, or \$1.03 per diluted common share, for the fourth quarter of 2019, compared to an adjusted after-tax loss attributable to AIG common shareholders of \$559 million, or \$0.63 per common share, in the prior-year quarter. The improvement was primarily due to the favorable impact of General Insurance underwriting and reinsurance actions, lower catastrophe losses and an increase in net investment income compared to the prior-year quarter.

For the full year of 2019, net income attributable to AIG common shareholders was \$3.3 billion, or \$3.74 per diluted common share, compared to a net loss attributable to AIG common shareholders of \$6 million, or \$0.01 per common share, in the prior year. The improvement was primarily due to a reduction in net catastrophe losses of \$1.7 billion (pre-tax) compared to the prior year; the favorable impact of General Insurance underwriting and reinsurance actions; and an increase in net investment income of \$2.1 billion (pre-tax) primarily reflecting asset growth, an increase in alternative returns, and the impact of lower interest rates on fair value option on fixed maturity securities compared to the prior year. Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders was \$4.1 billion, or \$4.59 per diluted common share, for the full year of 2019, compared to \$1.1 billion, or \$1.17 per diluted common share, in the prior year. The improvement was primarily due to lower catastrophe losses, favorable net prior year loss reserve development compared to unfavorable net prior year loss reserve development in the prior year, and higher net investment income.

Brian Duperreault, AIG's Chief Executive Officer, said: "Our financial results for the fourth quarter and for full year 2019 reflect the significant progress we made over the course of 2019 to position AIG for long-term, sustainable and profitable growth. For the full year 2019, after-tax income attributable to common shareholders was \$4.1 billion, or \$4.59 per diluted share, and Adjusted ROCE was 8.3%. The improvement in our financial performance over the course of last year was broad-based, with contributions from all of our segments, but most notable was the return to underwriting profitability in General Insurance. The full year combined ratio was 99.6% and the accident year combined ratio, as adjusted, was 96.0%. Life & Retirement also delivered solid results in the face of continued headwinds from low interest rates and tightening credit spreads. Finally, we were pleased to announce that we reached an agreement to sell a majority stake in Fortitude Re, our legacy insurance business, which is scheduled to close mid-year, subject to regulatory approvals.

"As we look to 2020, we will continue to be laser focused on executing on our strategy to position AIG as both a leading insurance franchise and a top-performing company and we remain committed to achieving a 10% Adjusted ROCE by the end of 2021. In addition to continued work as part of the turnaround of General Insurance, AIG 200 will be a top priority. AIG 200 is our multi-year, enterprise-wide transformation program focused on the long-term strategic positioning of AIG and designed to achieve operational excellence. I remain confident we are on the right path at AIG and am very proud of what our colleagues accomplished since I



joined the company in 2017. We entered 2020 with great momentum and excitement about what the future holds for AIG,” Mr. Duperreault added.

FINANCIAL SUMMARY

(\$ in millions, except per common share amounts)	Three Months Ended December 31,		Twelve Months Ended December 31,	
	2019	2018	2019	2018
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders	\$ 922	\$ (622)	\$ 3,326	\$ (6)
Net income (loss) per diluted share attributable to AIG common shareholders (a)	\$ 1.03	\$ (0.70)	\$ 3.74	\$ (0.01)
Weighted average common shares outstanding - diluted (a)	896.4	887.5	889.5	910.1
Adjusted pre-tax income (loss):				
General Insurance	\$ 778	\$ (722)	\$ 3,533	\$ (469)
Life and Retirement	839	623	3,458	3,190
Other Operations	(586)	(420)	(2,014)	(1,525)
Legacy	177	(150)	501	213
Total	<u>\$ 1,208</u>	<u>\$ (669)</u>	<u>\$ 5,478</u>	<u>\$ 1,409</u>
Adjusted after-tax income (loss) attributable to AIG common shareholders	\$ 919	\$ (559)	\$ 4,084	\$ 1,064
Adjusted after-tax income (loss) per diluted share attributable to AIG common shareholders (a)	\$ 1.03	\$ (0.63)	\$ 4.59	\$ 1.17
Return on common equity	5.7 %	(4.3)%	5.3 %	0.0 %
Adjusted return on common equity	7.3 %	(4.6)%	8.3 %	2.1 %
Adjusted return on attributed common equity - Core*	7.6 %	(4.3)%	9.2 %	2.3 %
Common shares outstanding	870.0	866.6	870.0	866.6
Book value per common share	\$ 74.93	\$ 65.04	\$ 74.93	\$ 65.04
Book value per common share, excluding accumulated other comprehensive income*	69.20	66.67	69.20	66.67
Adjusted book value per common share	58.89	54.95	58.89	54.95
General Insurance Combined ratio	99.8	115.0	99.6	111.4
General Insurance Accident year combined ratio, as adjusted	95.8	98.8	96.0	99.7
Adjusted return on attributed common equity - Life and Retirement*	13.0 %	9.8 %	13.7 %	12.6 %

(a) For periods reporting a loss, basic average common shares outstanding are used to calculate net income (loss) per diluted share attributable to AIG common shareholders. Diluted shares represent basic shares for the three-month period ended December 31, 2018 because we reported a net loss and an adjusted after-tax loss attributable to AIG common shareholders from continuing operations in that period.

All comparisons are against the fourth quarter of 2018, unless otherwise indicated. Refer to the AIG Fourth Quarter 2019 Financial Supplement, which is posted on AIG’s website in the Investors section, for further information.



FOURTH QUARTER 2019 HIGHLIGHTS

General Insurance – Fourth quarter adjusted pre-tax income of \$778 million was comprised of underwriting income of \$12 million and net investment income of \$766 million. Favorable net prior year loss reserve development totaled \$153 million and was primarily due to favorable net prior year loss reserve development for accident year 2017. Catastrophe-related losses, net of reinsurance, totaled \$411 million, including \$233 million from Typhoon Hagibis and \$146 million from Texas tornadoes and California wildfires. The combined ratio was 99.8. The accident year combined ratio, as adjusted, was 95.8, comprised of a 61.6 accident year loss ratio, as adjusted*, an improvement of 230 basis points from the prior-year quarter, and an expense ratio of 34.2, an improvement of 70 basis points from the prior-year quarter. The decrease in accident year loss ratio, as adjusted, reflected the underwriting and reinsurance actions taken to improve business mix and loss performance, and to reduce volatility in the General Insurance book of business.

Life and Retirement – Fourth quarter adjusted pre-tax income increased 35% to \$839 million compared to the prior-year quarter. The increase reflected favorable impacts from equity market returns, favorable impacts from lower interest rates resulting in higher income on fair value option bonds and gains on calls, and higher assets driving higher base portfolio income, partially offset by spread compression due to lower reinvestment yields and slightly higher general operating expenses (GOE) from investments in the business compared to the prior-year quarter. Net flows were unfavorable compared to the prior-year quarter primarily due to lower Fixed Annuity sales and slightly higher group surrenders, partially offset by strong Index Annuity sales and higher group acquisition sales. Life and Retirement's Adjusted ROCE for the fourth quarter of 2019 was 13.0%.

Net Investment Income – Fourth quarter net investment income increased 30% to \$3.6 billion reflecting higher alternative investment income of \$209 million compared to a loss in the prior-year quarter. Annualized yield for alternative investment income was 12.26% for the fourth quarter of 2019, above AIG's 8% annualized assumption for the quarter, compared to -5.85% in the prior-year quarter.

Other Operations – Fourth quarter adjusted pre-tax loss of \$586 million increased from an adjusted pre-tax loss of \$420 million in the prior-year quarter, which included a loss of \$133 million and a gain of \$31 million, respectively, from consolidation, eliminations and other adjustments. Net of consolidation, eliminations and other adjustments, the slight increase in the pre-tax loss was primarily due to an increase in interest expense from consolidated investment entities of \$44 million.

Legacy Results – Fourth quarter adjusted pre-tax income of \$177 million compared to adjusted pre-tax loss of \$150 million in the prior-year quarter. The fourth quarter of 2018 included a \$105 million pre-tax charge resulting from loss recognition on certain Accident & Health cancer and disability blocks. Excluding the charge, the increase in pre-tax income was primarily due to higher net investment income.

Book Value per Common Share – As of December 31, 2019, book value per common share was \$74.93 compared to \$65.04 at December 31, 2018 reflecting an increase in retained



earnings as a result of 2019 net income and an increase in AOCI as a result of lower interest rates on the fixed maturity portfolio. Adjusted book value per common share increased 7% to \$58.89 compared to the prior year end due to growth in retained earnings as a result of \$3.3 billion of net income attributable to AIG common shareholders in the twelve months ended December 31, 2019.

Return on Common Equity (ROCE) – ROCE for the fourth quarter and the twelve months ended December 31, 2019 was 5.7% and 5.3%, respectively, a significant improvement from the prior-year quarter and the twelve months ended December 31, 2018, due to higher net income attributable to AIG. Adjusted ROCE for the fourth quarter and twelve months ended December 31, 2019 was 7.3% and 8.3%, respectively, an improvement from (4.6)% and 2.1% in the prior-year quarter and twelve months ended December 31, 2018, respectively, due to higher adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders.

Liquidity and Capital – As of December 31, 2019, AIG Parent liquidity stood at approximately \$7.6 billion, including \$1.7 billion to be paid for an expected tax settlement with the Internal Revenue Service, which could be made as early as the first quarter of 2020.

GENERAL INSURANCE

(\$ in millions)	Three Months Ended December 31,		
	2019	2018	Change
Total General Insurance			
Gross premiums written	\$ 7,306	\$ 7,699	(5) %
Net premiums written	\$ 5,830	\$ 6,424	(9)
Underwriting income (loss)	\$ 12	\$ (1,071)	NM
Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 778	\$ (722)	NM
Underwriting ratios:			
Loss ratio	65.6	80.1	(14.5) pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(6.5)	(11.3)	4.8
Prior year development	2.2	(5.3)	7.5
Adjustments for ceded premium under reinsurance contracts and other	0.3	0.4	(0.1)
Accident year loss ratio, as adjusted	61.6	63.9	(2.3)
Expense ratio	34.2	34.9	(0.7)
Combined ratio	99.8	115.0	(15.2)
Accident year combined ratio, as adjusted	95.8	98.8	(3.0)



General Insurance - North America

(\$ in millions)	Three Months Ended December 31,		
	2019	2018	Change
North America			
Net premiums written	\$ 2,814	\$ 2,944	(4) %
Commercial Lines	1,990	2,161	(8)
Personal Insurance	824	783	5
Underwriting income (loss)	\$ (19)	\$ (871)	98
Commercial Lines	(111)	(541)	79
Personal Insurance	92	(330)	NM
Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 622	\$ (575)	NM
<u>Underwriting ratios:</u>			
North America			
Loss ratio	71.7	94.6	(22.9) pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(9.8)	(19.6)	9.8
Prior year development	3.1	(10.0)	13.1
Adjustments for ceded premium under reinsurance contracts and other	0.7	0.9	(0.2)
Accident year loss ratio, as adjusted	65.7	65.9	(0.2)
Expense ratio	28.9	30.7	(1.8)
Combined ratio	100.6	125.3	(24.7)
Accident year combined ratio, as adjusted	94.6	96.6	(2.0)
North America Commercial Lines			
Loss ratio	80.7	93.6	(12.9) pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(8.0)	(9.8)	1.8
Prior year development	(2.1)	(13.3)	11.2
Adjustments for ceded premium under reinsurance contracts and other	0.7	1.2	(0.5)
Accident year loss ratio, as adjusted	71.3	71.7	(0.4)
Expense ratio	24.1	27.3	(3.2)
Combined ratio	104.8	120.9	(16.1)
Accident year combined ratio, as adjusted	95.4	99.0	(3.6)
North America Personal Insurance			
Loss ratio	45.7	98.0	(52.3) pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(14.8)	(49.8)	35.0
Prior year development	17.8	-	17.8
Adjustments for ceded premium under reinsurance contract	0.6	-	0.6
Accident year loss ratio, as adjusted	49.3	48.2	1.1
Expense ratio	42.9	41.6	1.3
Combined ratio	88.6	139.6	(51.0)
Accident year combined ratio, as adjusted	92.2	89.8	2.4



General Insurance North America – Commentary

- Net premiums written decreased by 4% to \$2.8 billion primarily due to underwriting actions and changes in reinsurance programs in 2019.
- A pre-tax underwriting loss of \$19 million included \$313 million of catastrophe losses, net of reinsurance, of which \$193 million were in North America Commercial Lines and \$120 million in North America Personal Insurance. Favorable net prior year loss reserve development was driven by favorable 2017 catastrophe loss reserve development and favorable workers' compensation loss reserve development, partially offset by unfavorable loss reserve development for U.S. Financial Lines and Primary Construction Wrap run-off business.
- The North America combined ratio of 100.6 included 9.8 points of catastrophe losses and reinstatement premiums and (3.1) points of favorable net prior year loss reserve development. The accident year combined ratio, as adjusted, was 94.6, comprised of a 65.7 accident year loss ratio, as adjusted, and a 28.9 expense ratio. The 0.2 points improvement in the accident year loss ratio, as adjusted, reflected the beneficial impact of underwriting and reinsurance actions, partially offset by higher crop losses.
- The 1.8 points decrease in the expense ratio was largely driven by 2.0 points reduction in acquisition ratio due to changes in business mix, partially offset by 0.2 points increase in the GOE ratio.



General Insurance - International

(\$ in millions)	Three Months Ended December 31,		
	2019	2018	Change
International			
Net premiums written	\$ 3,016	\$ 3,480	(13) %
Commercial Lines	1,379	1,561	(12)
Personal Insurance	1,637	1,919	(15)
Underwriting income (loss)	\$ 31	\$ (200)	NM
Commercial Lines	(25)	(251)	90
Personal Insurance	56	51	10
Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 156	\$ (147)	NM
<u>Underwriting ratios:</u>			
International			
Loss ratio	59.7	66.8	(7.1) pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(3.4)	(3.7)	0.3
Prior year development	1.4	(1.0)	2.4
Accident year loss ratio, as adjusted	57.7	62.1	(4.4)
Expense ratio	39.4	38.6	0.8
Combined ratio	99.1	105.4	(6.3)
Accident year combined ratio, as adjusted	97.1	100.7	(3.6)
International Commercial Lines			
Loss ratio	65.4	80.5	(15.1) pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(3.3)	(7.2)	3.9
Prior year development	(1.1)	(4.1)	3.0
Accident year loss ratio, as adjusted	61.0	69.2	(8.2)
Expense ratio	36.2	33.1	3.1
Combined ratio	101.6	113.6	(12.0)
Accident year combined ratio, as adjusted	97.2	102.3	(5.1)
International Personal Insurance			
Loss ratio	54.5	53.4	1.1 pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(3.3)	(0.2)	(3.1)
Prior year development	3.5	2.0	1.5
Accident year loss ratio, as adjusted	54.7	55.2	(0.5)
Expense ratio	42.3	43.9	(1.6)
Combined ratio	96.8	97.3	(0.5)
Accident year combined ratio, as adjusted	97.0	99.1	(2.1)



General Insurance International – Commentary

- Net premiums written decreased 13% on a reported and constant dollar basis due to underwriting and changes in reinsurance programs in 2019.
- Pre-tax underwriting income of \$31 million included \$98 million of catastrophe losses, net of reinsurance, of which \$51 million related to International Personal Insurance and \$47 million related to International Commercial Lines. Favorable net prior year loss reserve development was \$44 million, with \$61 million of favorable net prior year loss reserve development in International Personal Insurance, partially offset by \$17 million of unfavorable net prior year loss reserve development in International Commercial Lines.
- The International combined ratio was 99.1, down from 105.4 in the prior-year quarter. The accident year combined ratio, as adjusted, of 97.1 was comprised of a 57.7 accident year loss ratio, as adjusted, and a 39.4 expense ratio. The 4.4 points decrease in the accident year loss ratio, as adjusted, was primarily driven by Specialty Lines, Talbot Holdings, Ltd. and Japanese Personal Auto.
- The expense ratio increased 0.8 points primarily due to a 0.7 points increase in the GOE ratio and 0.1 points increase in the acquisition ratio.

LIFE AND RETIREMENT

(\$ in millions)	Three Months Ended December 31,		
	2019	2018	Change
Life and Retirement			
Premiums & fees	\$ 1,695	\$ 1,917	(12) %
Net investment income	2,071	1,921	8
Adjusted revenues	4,000	4,065	(2)
Benefits, losses and expenses	3,161	3,442	(8)
Adjusted pre-tax income	839	623	35
Premiums and deposits	7,060	8,166	(14)
Individual Retirement			
Premiums & fees	\$ 248	\$ 209	19 %
Net investment income	1,019	912	12
Adjusted revenues	1,421	1,276	11
Benefits, losses and expenses	920	949	(3)
Adjusted pre-tax income	501	327	53
Premiums and deposits	3,156	4,225	(25)
Net flows	(963)	(510)	(89)



(\$ in millions)	Three Months Ended December 31,		
	2019	2018	Change
Group Retirement			
Premiums & fees	\$ 114	\$ 111	3 %
Net investment income	537	517	4
Adjusted revenues	722	682	6
Benefits, losses and expenses	513	523	(2)
Adjusted pre-tax income	209	159	31
Premiums and deposits	2,312	2,106	10
Net flows	(809)	(628)	(29)
Life Insurance			
Premiums & fees	\$ 791	\$ 741	7 %
Net investment income	288	287	-
Adjusted revenues	1,088	1,045	4
Benefits, losses and expenses	1,037	958	8
Adjusted pre-tax income	51	87	(41)
Premiums and deposits	1,047	987	6
Institutional Markets			
Premiums & fees	\$ 542	\$ 856	(37) %
Net investment income	227	205	11
Adjusted revenues	769	1,062	(28)
Benefits, losses and expenses	691	1,012	(32)
Adjusted pre-tax income	78	50	56
Premiums and deposits	545	848	(36)

Life and Retirement – Commentary

- Life and Retirement reported adjusted pre-tax income of \$839 million compared to \$623 million in the prior-year quarter primarily due to better Individual and Group Retirement results. Premiums and deposits decreased 14% to \$7.1 billion compared to the prior-year quarter primarily due to lower Fixed Annuities deposits driven by lower interest rates. Net flows continue to be negative.
- Individual Retirement reported adjusted pre-tax income of \$501 million compared to \$327 million in the prior-year quarter. Adjusted pre-tax income improved as a result of favorable impacts from equity market returns, favorable impacts from lower interest rates driving higher income on fair value option bonds, and higher income resulting from growth in Index Annuity assets throughout 2019, partially offset by continued spread compression as a result of lower reinvestment yields compared to the prior-year quarter. Total net flows excluding Retail Mutual Funds were positive in the quarter, but lower compared to the prior-year period, driven by lower Fixed Annuity sales resulting from the lower interest rate environment.
- Group Retirement reported adjusted pre-tax income of \$209 million compared to \$159 million in the prior-year quarter. The improvement in adjusted pre-tax income was driven by the favorable impacts from equity market returns, partially offset by higher



GOE related to investments in the business. Net flows remain negative primarily due to higher surrenders compared to the prior-year quarter.

- Life Insurance reported adjusted pre-tax income of \$51 million compared to adjusted pre-tax income of \$87 million in the prior-year quarter as favorable reserve refinements in the prior-year quarter were partially offset by favorable mortality in the current quarter.
- Institutional Markets adjusted pre-tax income of \$78 million compared to \$50 million in the prior-year quarter increased due to higher net investment income on a growing asset base driven by growth in Pension Risk Transfer and GIC reserves.

CONFERENCE CALL

AIG will host a conference call today, Thursday, February 13, 2020 at 9:00 a.m. ET to review these results. The call is open to the public and can be accessed via a live listen-only webcast in the Investors section of www.aig.com. A replay will be available after the call at the same location.

#

Additional supplementary financial data is available in the Investors section at www.aig.com.

The conference call (including the financial results presentation material), the earnings release and the financial supplement may include, and officers and representatives of AIG may from time to time make and discuss, projections, goals, assumptions and statements that may constitute “forward-looking statements” within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. These projections, goals, assumptions and statements are not historical facts but instead represent only a belief regarding future events, many of which, by their nature, are inherently uncertain and outside AIG’s control. These projections, goals, assumptions and statements include statements preceded by, followed by or including words such as “will,” “believe,” “anticipate,” “expect,” “intend,” “plan,” “focused on achieving,” “view,” “target,” “goal” or “estimate.” These projections, goals, assumptions and statements may relate to future actions, prospective services or products, future performance or results of current and anticipated services or products, sales efforts, expenses, the outcome of contingencies such as legal proceedings, anticipated organizational, business or regulatory changes, anticipated sales, monetization and/or acquisitions of businesses or assets, or successful integration of acquired businesses, management succession and retention plans, exposure to risk, trends in operations and financial results.

It is possible that AIG’s actual results and financial condition will differ, possibly materially, from the results and financial condition indicated in these projections, goals, assumptions and statements. Factors that could cause AIG’s actual results to differ, possibly materially, from those in the specific projections, goals, assumptions and statements include:

- changes in market and industry conditions;
- the occurrence of catastrophic events, both natural and man-made, and the effects of climate change;



FOR IMMEDIATE RELEASE

- AIG's ability to effectively execute on AIG 200 operational programs designed to achieve underwriting excellence, modernization of AIG's operating infrastructure, enhanced user and customer experiences and unification of AIG;
- AIG's ability to consummate the sale of its controlling interest in Fortitude Holdings and AIG's ability to successfully manage Legacy Portfolios;
- changes in judgments concerning potential cost saving opportunities;
- actions by credit rating agencies;
- changes in judgments concerning insurance underwriting and insurance liabilities;
- the impact of potential information technology, cybersecurity or data security breaches, including as a result of cyber-attacks or security vulnerabilities;
- disruptions in the availability of AIG's electronic data systems or those of third parties;
- the effectiveness of strategies to recruit and retain key personnel and to implement effective succession plans;
- the requirements, which may change from time to time, of the global regulatory framework to which AIG is subject;
- significant legal, regulatory or governmental proceedings;
- concentrations in AIG's investment portfolios;
- changes to the valuation of AIG's investments;
- AIG's ability to successfully dispose of, monetize and/or acquire businesses or assets or successfully integrate acquired businesses;
- changes in judgments concerning the recognition of deferred tax assets and goodwill impairment; and
- such other factors discussed in Part II, Item 7. Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations (MD&A) and Part I, Item 1A. Risk Factors in AIG's Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2019 (which will be filed with the Securities and Exchange Commission), Part I, Item 2. MD&A in AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended September 30, 2019, Part I, Item 2. MD&A in AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended June 30, 2019, Part I, Item 2. MD&A in AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended March 31, 2019, and Part II, Item 7. MD&A and Part I, Item 1A. Risk Factors in AIG's Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2018.

AIG is not under any obligation (and expressly disclaims any obligation) to update or alter any projections, goals, assumptions or other statements, whether written or oral, that may be made from time to time, whether as a result of new information, future events or otherwise.

#

COMMENT ON REGULATION G AND NON-GAAP FINANCIAL MEASURES

Throughout this press release, including the financial highlights, AIG presents its financial condition and results of operations in the way it believes will be most meaningful and representative of its business results. Some of the measurements AIG uses are "non-GAAP financial measures" under Securities and Exchange Commission rules and regulations. GAAP is the acronym for "generally accepted accounting principles" in the United States. The non-GAAP



financial measures AIG presents are listed below and may not be comparable to similarly-named measures reported by other companies. The reconciliations of such measures to the most comparable GAAP measures in accordance with Regulation G are included within the relevant tables attached to this news release or in the Fourth Quarter 2019 Financial Supplement available in the Investors section of AIG's website, www.aig.com.

Book Value per Common Share, Excluding Accumulated Other Comprehensive Income (AOCI) and Book Value per Common Share, Excluding AOCI and Deferred Tax Assets (DTA) (Adjusted Book Value per Common Share) are used to show the amount of AIG's net worth on a per-common share basis. AIG believes these measures are useful to investors because they eliminate items that can fluctuate significantly from period to period, including changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio, foreign currency translation adjustments and U.S. tax attribute deferred tax assets. These measures also eliminate the asymmetrical impact resulting from changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio wherein there is largely no offsetting impact for certain related insurance liabilities. AIG excludes deferred tax assets representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards and foreign tax credits as they have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As net operating loss carryforwards and foreign tax credits are utilized, the portion of the DTA utilized is included in these book value per common share metrics. Book value per common share, excluding AOCI, is derived by dividing Total AIG common shareholders' equity, excluding AOCI, by total common shares outstanding. Adjusted Book Value per Common Share is derived by dividing Total AIG common shareholders' equity, excluding AOCI and DTA (**Adjusted Common Shareholders' Equity**), by total common shares outstanding.

AIG Return on Common Equity – Adjusted After-tax Income Excluding AOCI and DTA (Adjusted Return on Common Equity) is used to show the rate of return on common shareholders' equity. AIG believes this measure is useful to investors because it eliminates items that can fluctuate significantly from period to period, including changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio, foreign currency translation adjustments and U.S. tax attribute deferred tax assets. This measure also eliminates the asymmetrical impact resulting from changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio wherein there is largely no offsetting impact for certain related insurance liabilities. AIG excludes deferred tax assets representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards and foreign tax credits as they have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As net operating loss carryforwards and foreign tax credits are utilized, the portion of the DTA utilized is included in Adjusted Return on Common Equity. Adjusted Return on Common Equity is derived by dividing actual or annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders by average Adjusted Common Shareholders' Equity.

Core and Life and Retirement Adjusted Attributed Common Equity is an attribution of total AIG Adjusted Common Shareholders' Equity to these segments based on AIG's internal capital model, which incorporates the segments' respective risk profiles. Adjusted attributed common equity represents AIG's best estimates based on current facts and circumstances and will change over time.

Core and Life and Retirement Return on Common Equity – Adjusted After-tax Income



(Adjusted Return on Attributed Common Equity) is used to show the rate of return on Adjusted Attributed Common Equity. Adjusted Return on Attributed Common Equity is derived by dividing actual or annualized Adjusted After-tax Income by Average Adjusted Attributed Common Equity.

Adjusted After-tax Income Attributable to Core and Life and Retirement is derived by subtracting attributed interest expense, income tax expense and attributed dividends on preferred stock from adjusted pre-tax income. Attributed debt and the related interest expense and dividends on preferred stock are calculated based on AIG's internal capital model. Tax expense or benefit is calculated based on an internal attribution methodology that considers among other things the taxing jurisdiction in which the segments conduct business, as well as the deductibility of expenses in those jurisdictions.

Adjusted Revenues exclude Net realized capital gains (losses), income from non-operating litigation settlements (included in Other income for GAAP purposes) and changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits (included in Net investment income for GAAP purposes). Adjusted revenues is a GAAP measure for AIG's operating segments.

AIG uses the following operating performance measures because AIG believes they enhance the understanding of the underlying profitability of continuing operations and trends of AIG's business segments. AIG believes they also allow for more meaningful comparisons with AIG's insurance competitors. When AIG uses these measures, reconciliations to the most comparable GAAP measure are provided on a consolidated basis.



Adjusted Pre-tax Income (APTI) is derived by excluding the items set forth below from income from continuing operations before income tax. This definition is consistent across AIG's segments. These items generally fall into one or more of the following broad categories: legacy matters having no relevance to AIG's current businesses or operating performance; adjustments to enhance transparency to the underlying economics of transactions; and measures that AIG believes to be common to the industry. APTI is a GAAP measure for AIG's segments. Excluded items include the following:

- changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits;
- changes in benefit reserves and deferred policy acquisition costs (DAC), value of business acquired (VOBA), and sales inducement assets (SIA) related to net realized capital gains and losses;
- changes in the fair value of equity securities;
- loss (gain) on extinguishment of debt;
- all net realized capital gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication. Earned income on such economic hedges is reclassified from net realized capital gains and losses to specific APTI line items based on the economic risk being hedged (e.g. net investment income and interest credited to policyholder account balances);
- income or loss from discontinued operations;
- net loss reserve discount benefit (charge);
- pension expense related to a one-time lump sum payment to former employees;
- income and loss from divested businesses;
- non-operating litigation reserves and settlements;
- restructuring and other costs related to initiatives designed to reduce operating expenses, improve efficiency and simplify AIG's organization;
- the portion of favorable or unfavorable prior year reserve development for which AIG has ceded the risk under retroactive reinsurance agreements and related changes in amortization of the deferred gain;
- integration and transaction costs associated with acquired businesses;
- losses from the impairment of goodwill; and
- non-recurring external costs associated with the implementation of non-ordinary course legal or regulatory changes or changes to accounting principles.

Adjusted After-tax Income attributable to AIG common shareholders (AATI) is derived by excluding the tax effected APTI adjustments described above, dividends on preferred stock, and the following tax items from net income attributable to AIG:

- deferred income tax valuation allowance releases and charges;
- changes in uncertain tax positions and other tax items related to legacy matters having no relevance to AIG's current businesses or operating performance; and
- net tax charge related to the enactment of the Tax Cuts and Jobs Act (Tax Act); and by excluding the net realized capital gains (losses) from noncontrolling interests.



See page 18 for the reconciliation of Net income attributable to AIG to Adjusted After-tax Income Attributable to AIG.

Ratios: AIG, along with most property and casualty insurance companies, uses the loss ratio, the expense ratio and the combined ratio as measures of underwriting performance. These ratios are relative measurements that describe, for every \$100 of net premiums earned, the amount of losses and loss adjustment expenses (which for General Insurance excludes net loss reserve discount), and the amount of other underwriting expenses that would be incurred. A combined ratio of less than 100 indicates underwriting income and a combined ratio of over 100 indicates an underwriting loss. AIG's ratios are calculated using the relevant segment information calculated under GAAP, and thus may not be comparable to similar ratios calculated for regulatory reporting purposes. The underwriting environment varies across countries and products, as does the degree of litigation activity, all of which affect such ratios. In addition, investment returns, local taxes, cost of capital, regulation, product type and competition can have an effect on pricing and consequently on profitability as reflected in underwriting income and associated ratios.

Accident year loss and combined ratios, as adjusted: both the accident year loss and combined ratios, as adjusted, exclude catastrophe losses and related reinstatement premiums, prior year development, net of premium adjustments, and the impact of reserve discounting. Natural catastrophe losses are generally weather or seismic events having a net impact on AIG in excess of \$10 million each and man-made catastrophe losses, such as terrorism and civil disorders that exceed the \$10 million threshold. AIG believes that as adjusted ratios are meaningful measures of AIG's underwriting results on an ongoing basis as they exclude catastrophes and the impact of reserve discounting which are outside of management's control. AIG also excludes prior year development to provide transparency related to current accident year results.

Underwriting ratios are computed as follows:

- a) Loss ratio = Loss and loss adjustment expenses incurred ÷ Net premiums earned (NPE)
- b) Acquisition ratio = Total acquisition expenses ÷ NPE
- c) General operating expense ratio = General operating expenses ÷ NPE
- d) Expense ratio = Acquisition ratio + General operating expense ratio
- e) Combined ratio = Loss ratio + Expense ratio
- f) Accident year loss ratio, as adjusted (AYLR) = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/- Reinstatement premiums related to catastrophes (CYRIPs) +/- RIPs related to prior year catastrophes (PYRIPs) + (Additional) returned premium related to PYD on loss sensitive business ((AP)RP) + Adjustment for ceded premiums under reinsurance contracts related to prior accident years]
- g) Accident year combined ratio, as adjusted = AYLR + Expense ratio
- h) Catastrophe losses (CATs) and reinstatement premiums = [Loss and loss adjustment expenses incurred – (CATs)] ÷ [NPE +/- CYRIPs] – Loss ratio
- i) Prior year development net of (additional) return premium related to PYD on loss sensitive business = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/- CYRIPs +/- PYRIPs + (AP)RP] – Loss ratio – CAT ratio

Premiums and deposits: includes direct and assumed amounts received and earned on traditional life insurance policies, group benefit policies and life-contingent payout annuities, as well as



FOR IMMEDIATE RELEASE

deposits received on universal life, investment-type annuity contracts, Federal Home Loan Bank (FHLB) funding agreements and mutual funds.

Results from discontinued operations are excluded from all of these measures.

#

American International Group, Inc. (AIG) is a leading global insurance organization. Building on 100 years of experience, today AIG member companies provide a wide range of property casualty insurance, life insurance, retirement solutions, and other financial services to customers in more than 80 countries and jurisdictions. These diverse offerings include products and services that help businesses and individuals protect their assets, manage risks and provide for retirement security. AIG common stock is listed on the New York Stock Exchange.

Additional information about AIG can be found at www.aig.com | YouTube: www.youtube.com/aig | Twitter: [@AIGinsurance](https://twitter.com/AIGinsurance) | www.twitter.com/AIGinsurance | LinkedIn: www.linkedin.com/company/aig. These references with additional information about AIG have been provided as a convenience, and the information contained on such websites is not incorporated by reference into this press release.

AIG is the marketing name for the worldwide property-casualty, life and retirement, and general insurance operations of American International Group, Inc. For additional information, please visit our website at www.aig.com. All products and services are written or provided by subsidiaries or affiliates of American International Group, Inc. Products or services may not be available in all countries and jurisdictions, and coverage is subject to underwriting requirements and actual policy language. Non-insurance products and services may be provided by independent third parties. Certain property-casualty coverages may be provided by a surplus lines insurer. Surplus lines insurers do not generally participate in state guaranty funds, and insureds are therefore not protected by such funds.

American International Group, Inc.
Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation
(\$ in millions, except per common share data)

Reconciliations of Adjusted Pre-tax and After-tax Income (Loss)

	Three Months Ended December 31,							
	2019				2018			
	Pre-tax	Tax Effect	Noncontrolling Interests ^(b)	After-tax	Pre-tax	Tax Effect	Noncontrolling Interests	After-tax
Pre-tax income (loss)/net income (loss), including noncontrolling interests	\$ 1,036	\$ 216	\$ -	\$ 869	\$ (695)	\$ (137)	\$ -	\$ (560)
Noncontrolling interests	-	-	60	60	-	-	(62)	(62)
Pre-tax income (loss)/net income (loss) attributable to AIG	1,036	216	60	929	(695)	(137)	(62)	(622)
Dividends on preferred stock				7				-
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders				922				(622)
Adjustments:								
Changes in uncertain tax positions and other tax adjustments	-	(7)	-	7	-	5	-	(5)
Deferred income tax valuation allowance releases	-	3	-	(3)	-	21	-	(21)
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	(11)	(2)	-	(9)	27	5	-	22
Changes in benefit reserves and DAC, VOBA and SIA related to net realized capital gains (losses)	(95)	(20)	-	(75)	40	7	-	33
Changes in the fair value of equity securities	(152)	(32)	-	(120)	-	-	-	-
Unfavorable (favorable) prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	(56)	(11)	-	(45)	68	14	-	54
(Gain) loss on extinguishment of debt	19	4	-	15	(3)	(1)	-	(2)
Net realized capital (gains) losses ^(a)	310	56	-	254	(195)	(56)	-	(139)
(Income) loss from discontinued operations	-	-	-	(49)	-	-	-	2
(Income) loss from divested businesses	71	8	-	63	(3)	-	-	(3)
Non-operating litigation reserves and settlements	(8)	(1)	-	(7)	(11)	(3)	-	(8)
Net loss reserve discount (benefit) charge	35	7	-	28	(66)	(15)	-	(51)
Integration and transaction costs associated with acquired businesses	8	2	-	6	33	7	-	26
Restructuring and other costs	44	9	-	35	136	29	-	107
Professional fees related to regulatory or accounting changes	7	1	-	6	-	-	-	-
Noncontrolling interests primarily related to net realized capital gains (losses) of Fortitude Holdings' standalone results ^(b)	-	-	(109)	(109)	-	-	48	48
Adjusted pre-tax income (loss)/Adjusted after-tax income (loss) attributable to AIG common shareholders	\$ 1,208	\$ 233	\$ (49)	\$ 919	\$ (669)	\$ (124)	\$ (14)	\$ (559)
	Twelve Months Ended December 31,							
	2019				2018			
	Pre-tax	Tax Effect	Noncontrolling Interests ^(b)	After-tax	Pre-tax	Tax Effect	Noncontrolling Interests	After-tax
Pre-tax income/net income, including noncontrolling interests	\$ 5,287	\$ 1,166	\$ -	\$ 4,169	\$ 257	\$ 154	\$ -	\$ 61
Noncontrolling interests	-	-	(821)	(821)	-	-	(67)	(67)
Pre-tax income/net income (loss) attributable to AIG	5,287	1,166	(821)	3,348	257	154	(67)	(6)
Dividends on preferred stock				22				-
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders				3,326				(6)
Adjustments:								
Changes in uncertain tax positions and other tax adjustments	-	(30)	-	30	-	(48)	-	48
Deferred income tax valuation allowance (releases) charges	-	43	-	(43)	-	(21)	-	21
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	(194)	(40)	-	(154)	154	32	-	122
Changes in benefit reserves and DAC, VOBA and SIA related to net realized capital gains (losses)	(56)	(12)	-	(44)	(6)	(3)	-	(3)
Changes in the fair value of equity securities	(158)	(33)	-	(125)	-	-	-	-
Unfavorable (favorable) prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	(267)	(56)	-	(211)	675	142	-	533
Loss on extinguishment of debt	32	7	-	25	7	1	-	6
Net realized capital (gains) losses ^(a)	(448)	(97)	-	(351)	193	41	-	152
(Income) loss from discontinued operations	-	-	-	(48)	-	-	-	42
(Income) loss from divested businesses	75	9	-	66	(38)	(8)	-	(30)
Non-operating litigation reserves and settlements	(2)	-	-	(2)	19	4	-	15
Net loss reserve discount (benefit) charge	955	201	-	754	(371)	(79)	-	(292)
Integration and transaction costs associated with acquired businesses	24	5	-	19	124	26	-	98
Restructuring and other costs	218	46	-	172	395	83	-	312
Professional fees related to regulatory or accounting changes	12	2	-	10	-	-	-	-
Noncontrolling interests primarily related to net realized capital gains (losses) of Fortitude Holdings' standalone results ^(b)	-	-	660	660	-	-	46	46
Adjusted pre-tax income/Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders	\$ 5,478	\$ 1,211	\$ (161)	\$ 4,084	\$ 1,409	\$ 324	\$ (21)	\$ 1,064

(a) Includes all net realized capital gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication.

(b) Noncontrolling interests is primarily due to the 19.9 percent investment in Fortitude Group Holdings, LLC (Fortitude Holdings) by an affiliate of The Carlyle Group L.P. (Carlyle), which occurred in the fourth quarter of 2018. Carlyle is allocated 19.9 percent of Fortitude Holdings' standalone financial results. Fortitude Holdings' results are mostly eliminated in AIG's consolidated income from continuing operations given that its results arise from intercompany transactions. Noncontrolling interests is calculated based on the standalone financial results of Fortitude Holdings. The most significant component of Fortitude Holdings' standalone results includes the change in fair value of the embedded derivatives, which moved materially in the year due to lower rates and tightening credit spreads in the first nine months of 2019, but reversed trend in the fourth quarter of 2019, and which are recorded in net realized capital gains and losses of Fortitude Holdings. In accordance with AIG's adjusted after-tax income definition, realized capital gains and losses are excluded from noncontrolling interests.

American International Group, Inc.
Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)
(\$ in millions, except per common share data)

Summary of Key Financial Metrics

	<u>Three Months Ended December 31,</u>			<u>Twelve Months Ended December 31,</u>		
	<u>2019</u>	<u>2018</u>	<u>% Inc. (Dec.)</u>	<u>2019</u>	<u>2018</u>	<u>% Inc. (Dec.)</u>
<u>Income (loss) per common share:</u>						
<i>Basic</i>						
Income (loss) from continuing operations	\$ 0.99	\$ (0.70)	NM%	\$ 3.74	\$ 0.04	NM%
Income (loss) from discontinued operations	0.06	-	NM	0.05	(0.05)	NM
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders	\$ 1.05	\$ (0.70)	NM	\$ 3.79	\$ (0.01)	NM
<i>Diluted</i>						
Income (loss) from continuing operations	\$ 0.97	\$ (0.70)	NM	\$ 3.69	\$ 0.04	NM
Income (loss) from discontinued operations	0.06	-	NM	0.05	(0.05)	NM
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders	\$ 1.03	\$ (0.70)	NM	\$ 3.74	\$ (0.01)	NM
Adjusted after-tax income (loss) attributable to AIG common shareholders per diluted share	\$ 1.03	\$ (0.63)	NM%	\$ 4.59	\$ 1.17	292.3 %
Weighted average shares outstanding:						
Basic	878.2	887.5		876.8	898.4	
Diluted (a)(b)	896.4	887.5		889.5	910.1	
Return on common equity (c)	5.7 %	(4.3)%		5.3 %	0.0 %	
Adjusted return on common equity (d)	7.3 %	(4.6)%		8.3 %	2.1 %	

<u>As of period end:</u>	<u>December 31, 2019</u>	<u>September 30, 2019</u>	<u>December 31, 2018</u>
Total AIG shareholders' equity	\$ 65,675	\$ 65,603	\$ 56,361
Preferred equity	485	485	-
Total AIG common shareholders' equity	65,190	65,118	56,361
Accumulated other comprehensive income (AOCI)	4,982	5,615	(1,413)
Total AIG common shareholders' equity, excluding AOCI	60,208	59,503	57,774
Deferred tax assets (e)	8,977	9,393	10,153
Total adjusted AIG common shareholders' equity	\$ 51,231	\$ 50,110	\$ 47,621

<u>As of period end:</u>	<u>December 31, 2019</u>	<u>September 30, 2019</u>	<u>% Inc. (Dec.)</u>	<u>December 31, 2018</u>	<u>% Inc. (Dec.)</u>
Book value per common share (f)	\$ 74.93	\$ 74.85	0.1 %	\$ 65.04	15.2 %
Book value per common share, excluding AOCI (g)	\$ 69.20	\$ 68.40	1.2	\$ 66.67	3.8
Adjusted book value per common share (h)	\$ 58.89	\$ 57.60	2.2	\$ 54.95	7.2
Total common shares outstanding	870.0	869.9		866.6	

Financial highlights - notes

- (a) For the three-month period ended December 31, 2018, because we reported a net loss and an adjusted after-tax loss attributable to AIG common shareholders from continuing operations, all common stock equivalents are anti-dilutive and are therefore excluded from the calculation of diluted shares and diluted per share amounts. The shares excluded from these calculations were 2,732,679 shares.
- (b) Diluted shares in the diluted EPS calculation represent basic shares for the three-month period ended December 31, 2018 due to the net losses in that period.
- (c) Computed as Annualized net income (loss) attributable to AIG common shareholders divided by average AIG common shareholders' equity. Equity includes AOCI and DTA.
- (d) Computed as Annualized Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders divided by Adjusted Common Shareholders' Equity.
- (e) Represents deferred tax assets only related to U.S. net operating loss and foreign tax credit carryforwards on a U.S. GAAP basis and excludes other balance sheet deferred tax assets and liabilities.
- (f) Represents total AIG common shareholders' equity divided by Total common shares outstanding.
- (g) Represents total AIG common shareholders' equity, excluding AOCI, divided by Total common shares outstanding.
- (h) Represents Adjusted Common Shareholders' Equity, divided by Total common shares outstanding.

American International Group, Inc.
Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation
(\$ in millions, except per common share amounts)

Reconciliations of Life and Retirement Adjusted Return on Common Equity

	Three Months Ended		Twelve Months Ended	
	December 31,		December 31,	
	2019	2018	2019	2018
Adjusted pre-tax income	\$ 839	\$ 623	\$ 3,458	\$ 3,190
Interest expense on attributed financial debt	47	31	173	107
Adjusted pre-tax income including attributed interest expense	792	592	3,285	3,083
Income tax expense	158	116	652	610
Adjusted after-tax income	634	476	2,633	2,473
Dividends declared on preferred stock	3	-	9	-
Adjusted after-tax income attributable to common shareholders	631	476	2,624	2,473
Ending adjusted attributed common equity	\$ 19,513	\$ 19,695	\$ 19,513	\$ 19,695
Average adjusted attributed common equity	\$ 19,374	\$ 19,475	\$ 19,109	\$ 19,664
Adjusted return on attributed common equity	13.0 %	9.8 %	13.7 %	12.6 %

Reconciliations of Core Adjusted Return on Common Equity

	Three Months Ended		Twelve Months Ended	
	December 31,		December 31,	
	2019	2018	2019	2018
Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 1,031	\$ (519)	\$ 4,977	\$ 1,196
Interest expense on attributed financial debt	-	-	-	(10)
Adjusted pre-tax income (loss) including attributed interest expense	1,031	(519)	4,977	1,206
Income tax expense (benefit)	196	(93)	1,106	281
Adjusted after-tax income (loss)	835	(426)	3,871	925
Dividends declared on preferred stock	7	-	22	-
Adjusted after-tax income (loss) attributable to common shareholders	828	(426)	3,849	925
Ending adjusted attributed common equity	\$ 44,213	\$ 38,735	\$ 44,213	\$ 38,735
Average adjusted attributed common equity	\$ 43,774	\$ 39,547	\$ 41,955	\$ 40,394
Adjusted return on attributed common equity	7.6 %	(4.3)%	9.2 %	2.3 %

Reconciliations of General Insurance Accident Year Combined Ratio, as Adjusted

	Twelve Months Ended	
	December 31,	
	2019	2018
Combined ratio	99.6	111.4
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(4.8)	(10.5)
Prior year development	1.1	(1.5)
Adjustments for ceded premium under reinsurance contracts and other	0.1	0.3
Accident year combined ratio, as adjusted	96.0	99.7

Net Premiums Written - Change in Constant Dollar

	Three Months Ended
	December 31, 2019
General Insurance - International	
Foreign exchange effect on worldwide premiums:	
Change in net premiums written	
Increase (decrease) in original currency	(13.3)%
Foreign exchange effect	-
Increase (decrease) as reported in U.S. dollars	(13.3)%

American International Group, Inc.
Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)
(\$ in millions, except per common share amounts)

Reconciliations of Premiums and Deposits

	Three Months Ended December 31,	
	2019	2018
<u>Individual Retirement:</u>		
Premiums	\$ 39	\$ 15
Deposits	3,121	4,213
Other	(4)	(3)
Total premiums and deposits	\$ 3,156	\$ 4,225
<u>Group Retirement:</u>		
Premiums	\$ 2	\$ 4
Deposits	2,310	2,102
Other	-	-
Total premiums and deposits	\$ 2,312	\$ 2,106
<u>Life Insurance:</u>		
Premiums	\$ 405	\$ 378
Deposits	436	417
Other	206	192
Total premiums and deposits	\$ 1,047	\$ 987
<u>Institutional Markets:</u>		
Premiums	\$ 501	\$ 816
Deposits	36	25
Other	8	7
Total premiums and deposits	\$ 545	\$ 848
<u>Total Life and Retirement:</u>		
Premiums	\$ 947	\$ 1,213
Deposits	5,903	6,757
Other	210	196
Total premiums and deposits	\$ 7,060	\$ 8,166